

ART OF IBARAKI

The Museum of Modern Art, Ibaraki



茨城県近代美術館

表紙では茨城県近代美術館所蔵の茨城県にゆかりのある作家による作品を紹介しています

森山 朝光

もりやま ちょうこう

明治30年(1897)ー昭和37年(1962)

「陽に浴びて」

ひにあびて

昭和33年(1958)

木彫

156×50cm

茨城県近代美術館蔵

日本伝統の木彫技術を用い、仏像や歴史人物をモチーフとしていた水戸出身の森山朝光は、第二次世界大戦中には、坑道を掘る兵士や古事記・日本書紀の神話など、時局を反映した作品を制作しています。戦後、制作された本作は、埴輪を担いだ若き古代人の姿。GHQ占領下、建国神話による歴史記述が検閲の対象になる一方で、新たに脚光を浴びたのが、古代遺跡の科学的な発掘でした。「陽に浴びて」というタイトルには、長く地中に埋まっていた歴史が明るい光のもとに現われたという喜び、敗戦後の日本人のアイデンティティ再生への希望が託されているのかもしれない。

主な内容

- ▼12支部が「道の日」で道路美化活動
- ▼建築委員会が県建築3課と意見交換
- ▼建災防の各種講習会日程

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

12支部が県内各地で道路美化活動

道路ふれあい月間 8月10日「道の日」

本会の12支部は、「道路ふれあい月間」(8月)と8月10日の「道の日」にちなんで、茨城県土木(工事)事務所や市町村などとともに県内各地で道路美化清掃を行いました。ことしも猛暑の中、約1500人が参加。「建設業協会」の名前が入ったベストを着用し、「生活を守り、まちをささえる建設業」と書かれた旗を掲げながら、ごみ拾いやカーブミラー清掃、違法看板の撤去などを行いました。

水戸支部



県水戸土木事務所や市町の職員を含め200人以上が参加し、水戸市、旧内原町、笠間市、小美玉市、茨城町、城里町、大洗町の7カ所で清掃しました。

大子支部



県大子工務所、大子町建設課と合同で道路の美化活動や橋梁78橋の清掃活動を行いました。集めたごみの量は500kgにおよびました。

太田支部



県常陸太田工事事務所、常陸太田市と合同で、国道349号や同293号などで242枚のカーブミラー清掃やごみ拾いを行いました。

高萩支部



県高萩工事事務所、北茨城市、高萩市と合同で190人以上が参加。日立、高萩、北茨城の3地区において道路を清掃し、ごみを拾い集めました。

常陸大宮支部



県常陸大宮土木事務所と合同で道路清掃。常陸大宮市、ひたちなか市、那珂市、東海村で、道路に落ちているペットボトルや空き缶を拾い集めました。

鉾田支部



県鉾田工事事務所や鉾田市、行方市などと協力し、国道355号をはじめとする管内5路線で道路区域域内に放置された空き缶などを回収しました。

地域社会への貢献に汗流す

県土木(工事)事務所、市町村と共同作業

この活動は、道路の管理者である県土木（工事）事務所や市町村、そして道路の建設・維持・補修の実務を行う建設業界で、ごみ拾いや違法看板類撤去などを行う姿勢を広く示すことにより、道路管理の大切さとその苦労を訴え、道路美化に寄与するために行っているものです。平成8年度から毎年、8月10日の「道の日」を中心に実施しており、今回で21回目となりました。

潮来支部



県潮来土木事務所、鹿嶋市、鹿嶋市建設業協同組合と協力。総勢201人が7班に分かれ、国道124号など16.2km区間で、ごみ類を回収しました。

筑西支部



県筑西土木事務所や3市と協力し、国道294号など約50路線280kmを総勢480人で清掃。可燃ごみ400袋、不燃ごみ242袋が集まりました。

竜ヶ崎支部



県竜ヶ崎工事事務所や龍ヶ崎市と佐貫停車場線の延長約4kmで清掃活動を実施しました。美浦村では7月23日に国道125号バイパスの草刈りを行いました。

常総支部



県常総工事事務所と協力し、国道125号（高道祖西交差点～高木川西交差点の約1.3km）で活動。可燃ごみ220kgを下妻市のごみ処理場に搬入しました。

土浦支部



県土浦土木事務所や周辺自治体の協力を受け、410人で道路清掃活動を展開。延長712.6kmで空き缶や空き瓶などのごみを拾い集めました。

境支部



県境工事事務所と協力し、256人で管内の主要13路線112.8kmで清掃活動を展開。交差点を中心に空き缶などのごみを回収しました。

適正な単価・工期設定を

県土木部建築3課と
意見交換会を開催



小沼県土木部建築指導課長



小藁委員長

本会の建築委員会（小藁拓巳委員長）は8月31日に、県建設センターで県土木部の建築3課（建築指導課、営繕課、住宅課）と意見交換会を行いました。県からの執行計画の説明を受けたほか、現場における諸問題について、本会からの要望を含め話し合いました。

「単価設定」では、積算時に型枠と鉄筋の数量が大きく違うケースなどを示し、数量拾いの手順を質問しました。また積算単価の低さを指摘し、国交省で実施している品質・施工体制管理



現場における諸問題について話し合いました

のためのヒアリングのような、お互いに歩み寄る策を提案。設計図書と内訳書との食い違いや詳細図面の少なさも示し、施工がスムーズに進まない現状を訴えました。

「工期・発注時期の設定」では、職人の不足に伴いマスター工程内での工事が困難になっている現状を説明し、ゆとりを持った工期設定を求め、「設計変更対応」の項目では、施工時の増減や仮設材の増減、同等品扱いの現状について具体事例を織り交ぜながら要望しました。

高萩支部が総合防災訓練に出動 土砂や倒木を除去し連絡路を復旧

茨城県と高萩市による平成28年度の総合防災訓練が8月27日に高浜スポーツ広場をメインに開催され、本会から高萩支部（松山恒男支部長）が参加。高萩建設協会とともに、土砂崩れの発生により通行不可能となった連絡路の障害物除去作業を実施。

県高萩土木事務所からの要請を受け、油圧ショベルで通行の障害となる土砂や倒木を除去した後、日立市消防本部と連携し、救出活動を行った。

訓練は、数日の大雨の後、茨城県沖を震源とするマグニチュード7.8の地震が発生し、高萩市で



は震度6強を観測。土砂災害や家屋・ビルの倒壊などが発生したとの想定で行われ、自衛隊や消防、警察、医療機関、県内建設業関係団体などから150機関、約5000人が参加しました。

雇用管理改善へ委員会を発足

セミナーやコンサルティングで魅力ある職場づくり

本会は、厚生労働省茨城労働局から受託した「建設業における人材確保のための雇用管理改善（※）促進事業」を推進するため、啓発実践推進委員会（小林伸行委員長）を発足し、8月3日に県建設センター3階会議室で第1回の委員会を開催しました。

小林委員長は冒頭、「人材確保に向けた雇用環



境の改善は急務である」とした上で「本事業の委託を受けた趣旨が県内建設業に広く普及、浸透するように、委員会として働き掛けていきたい」と抱負を述べました。

委員会は、啓発用のリーフレットを配布した上で、雇用管理改善啓発セミナーを順次開催。また会員企業10社に雇用管理アドバイザーを派遣し、事業主に対して雇用管理改善に関するコンサルティングを行います。年度末には好事例のパフレットを作成するとともに実践セミナーを開催し、雇用管理改善事例の周知、啓発を図っていきます。

※雇用管理改善＝魅力ある職場づくりのために人事考課・評価制度や賃金体系制度、諸手当制度のほか、段階的な研修体制制度、健康づくり制度、福利厚生制度などを導入すること

建設ふれあい祭りを開催

境支部と
未来協県西地区会



境支部（新井孝支部長）と建設未来協議会県西地区会（小澤淳幹事）は8月27日、境町の利根川河川敷船着場にバックホウやショベルローダー、ブルドーザー、高所作業車など建機約20台を用意し、第4回「建設ふれあい祭りin境」



を開催しました。

あいにくの雨模様にもかかわらず、家族連れを中心に約1000人が来場し、重機運転やアーム操作を体験した子どもたちの笑顔と歓声が会場にあふれました。

公共事業に85億円 道路に重点

茨城県の9月補正予算案

茨城県の平成28年度9月補正予算案がまとまりました。一般会計に追加する88億9400万円のうち、公共事業費として85億6600万円を計上しました。国補では、(仮称)石岡小美玉スマートICアクセス道路をはじめとする53カ所の道路整備に38億8200万円、緊急輸送道路など復興みちづくりアクションプランに基づく12カ所の道路整備に24億4700万円などを配分しました。

県単公共事業は総額22億4400万円で、防災減災対策と観光拠点周辺環境整備にそれぞれ約7億2000万円を配分しました。

9月補正予算案 公共事業費内訳

(単位:百万円)

区 分		当 初	9月補正
国補	土 木	71,623	6,286
	農 地	10,366	-
	農 林	3,371	36
	企 画	13	-
	計	85,373	6,322
県単	土 木	16,507	2,100
	農 地	758	-
	農 林	894	144
	計	18,159	2,244
合 計		103,532	8,566

9月補正予算案 主な事業計画箇所

【国補公共事業】 ▼道路=63億2900万円(国道293号常陸太田東バイパスほか) ▼道路直轄事業=2億1000万円(東関東水戸線) ▼ダム堰堤改良=2900万円(水沼ダム) ▼治水直轄事業=7億7600万円(利根川ほか) ▼組合等土地区画整理事業=1億7800万円(中根・金田台地区)

【県単公共事業】 ▼道路改良=8億3400万円(門井山方線ほか) ▼交通安全施設=1億2000万円 ▼道路路面再生=6600万円(鉾田鹿嶋線ほか) ▼道路維持修繕=1億

2000万円(国道461号ほか) ▼橋梁補修=5000万円(国道125号検見橋ほか) ▼排水整備=8000万円(笠間つくば線) ▼道路災害防除=9000万円(宇都宮笠間線ほか) ▼河川防災=3億円(巴川ほか) ▼水辺空間づくり整備=1億円(前川ほか) ▼県単急傾斜地崩壊対策事業=4000万円(宮下地区ほか) ▼港湾整備=5000万円(鹿島港) ▼公園施設=2億5000万円(大洗公園ほか) ▼治山事業=5000万円(十王町伊師) ▼漁港施設整備事業=9400万円(平潟漁港ほか)

給与や就業規則検討を

茨城県土木部が 4週8休モデル中間報告

茨城県土木部検査指導課は、昨年度に4件実施した「4週8休を確保するモデル工事」のうち、筑西土木事務所と土浦土木事務所つくば支所で実施した2件の工事が完了したことから、中間報告を取りまとめ、受発注者それぞれの課題を挙げました【右参照】。

県土木部は本年度、全土木事務所・事業所・支所および特設事務所で、4週8休を確保するモデル工事をそれぞれ1カ所程度ずつ実施する方針を示しており、全体で20件程度を発注する見通しです。対象は維持管理工事を除く全工種かつ予定価格3500万円以上を基本とする工事となります。

モデル工事における主な課題

- 【共通の課題】**
 - ・休暇や、人材確保に関する経営者の考え方(経営理念)や下請け業者も含めた業界全体の意識改革
- 【受注者の課題】**
 - ・日給月給制などの会社の給与制度の検討
 - ・社内の就業規則等の検討
 - ・下請負者(協力業者)への根回しや下請負者への給与保障等の検討
- 【発注者の課題】**
 - ・標準工期の再検証
 - ・「4週8休(週休2日)」制に対する、設計積算での考慮、成績評定による加点、総合評価入札方式による加点要素の設定などの検討
 - ・橋梁、河川、海岸港湾工事等の積算上供用損料等が影響してくる工事についての検証

建設業労働災害防止協会茨城県支部 平成28年度 下半期講習会日程

月	日	曜日	講習名	会場	備考
10	4	5	玉掛け	牛久市商工会館	○(学科)
	6	7		牛久運動公園	○(実技) 6、7日のいずれか
	12	13	車両系建設機械(整地・運搬・積込み用及び掘削用)の運転	建荷協研修センター	(13日実技)
	13	14	型枠作業主任者	鹿島港湾福祉センター	
	18	19	小型移動式クレーンの運転	ひたちなかテクノセンター	○(学科)
	20	21		建荷協研修センター	○(実技) 20、21日のいずれか
	25	26	高所作業車の運転	建荷協研修センター	(学科)
	27	28		建荷協研修センター	(実技) 27、28日のいずれか
	28		足場の組立て等の業務に係る特別教育	建荷協研修センター	
	31	11/1	足場作業主任者	茨城県建設業協会高萩支部会館	
11	2		のり面ロープ高所作業特別教育	建荷協研修センター2階	
	2	③	地山の掘削及び土止め支保工作業主任者	建荷協研修センター	
	4				
	8	9	小型移動式クレーンの運転	古河市商工会三和事務所	○(学科)
	10	11		古河市商工会三和事務所	○(実技) 10、11日のいずれか
	15	16	高所作業車の運転	つくば市商工会豊里会館(15日)	○(学科)
				石下建設会館(16日)	
	17	18		石下建設会館駐車場	○(実技) 17、18日のいずれか
	21	22	足場作業主任者	建荷協研修センター	
	24	25	石綿作業主任者	ひたちなか商工会議所会館	○
28	29	建築鉄骨作業主任者	建荷協研修センター		
29	30	高所作業車の運転	鹿島港湾福祉センター	(学科)	
12/1	12/2		鹿島港湾福祉センター	(実技) 1、2日のいずれか	
12	5	6	低圧電気取扱業務	牛久市商工会館	○
	8	9	コンクリート工作物解体	建荷協研修センター	
	13	14	足場作業主任者	鹿島ハイツスポーツプラザ	
	15	16	職長・安全衛生責任者	茨城県建設業協会鉢田支部会館	
	21	22	職長・安全衛生責任者	鹿島港湾福祉センター	
平成29年1	16	17	職長・安全衛生責任者	建荷協研修センター	
	20		足場の組立て等の業務に係る特別教育	建荷協研修センター	
	23	24	玉掛け	鹿島港湾福祉センター	(学科)
	25	26		鹿島港湾福祉センター	(実技) 25、26日のいずれか
	27		自由研削用といしの取替え等の業務	古河市商工会三和事務所	○
	31	2/1	小型移動式クレーンの運転	鹿島港湾福祉センター	(学科)
	2/2	2/3		鹿島港湾福祉センター	(実技) 2、3日のいずれか
2	6	7	足場作業主任者	建荷協研修センター	
	14	15	高所作業車の運転	ひたちなか商工会議所会館(14日)	○(学科)
				建荷協研修センター(15日)	
	16	17		建荷協研修センター	○(実技) 16、17日のいずれか
	21	22	玉掛け	建荷協研修センター	(学科)
	23	24		建荷協研修センター	(実技) 23、24日のいずれか
	27	28	高所作業車の運転	鹿島港湾福祉センター	(学科)
3/1	3/2	鹿島港湾福祉センター		(実技) 1、2日のいずれか	
3	6	7	足場作業主任者	鹿島ハイツスポーツプラザ	
	9	10	職長・安全衛生責任者	建荷協研修センター	

注:実技を伴う技能講習の実技講習日は、申込先着順に指定します。

参 考

10	12		茨城県産業安全衛生大会	ホテルレイクビュー水戸	
----	----	--	-------------	-------------	--

平成28年度 建設業退職金共済制度加入促進強化月間 平成28年10月1日～平成28年10月31日

建退共は建設業で働く労働者のための退職金制度です

独立行政法人 勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部
建退共茨城県支部

TEL 029-225-0095 FAX 029-225-1158
http://www.kentaikyo.taisyokukin.go.jp

10月・11月は
「建設共済加入促進月間」です

(公財)建設業福祉共済団

安い掛金! 大きな補償!

建設共済保険

法定外労災補償制度

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業

被災者（死亡および身体障害・傷病3級以上）の子供に対して、養育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業

① 安全衛生用品の頒布
② 女性専用トイレ導入費用に対する助成
③ 安全衛生推進者表彰 等

28年4月スタート!

公益財団法人 **建設業福祉共済団** 詳しい情報、掛金試算などのお問い合わせは
Tel. 03-3591-8451

■取扱機関: (一社)茨城県建設業協会 建設共済保険

【建設業福祉共済団ホームページ】

http://www.kyousaidan.or.jp/

◎ お問い合わせ ◎

(一社)茨城県建設業協会 電話 029-221-5126
(公財)建設業福祉共済団 電話 03-3591-8451

会員の動向

〈住所・代表者変更〉

- ▽土浦支部
飯岡建設(株)
〒305-0018 つくば市金田 1953-4
→ 〒305-0027 つくば市東岡 536-1
【代表取締役】小林 美智代 → 飯岡 美智代

〈代表者変更〉

- ▽竜ヶ崎支部
松丸工業(株)
佐々木 謙一 → 由良 宣明

〈社名変更〉

- ▽高萩支部
(株)日晃工務店 → 日晃茨城計測(株)

ちよつと言



相次ぐ異常気象による河川の氾濫・土砂崩れ…。以前よりニュースで見られる機会が増えているように思う。そのニュースで取り上げられるどの映像の中にも、懸命に復旧作業にあたる地元建設業者がいる。そんなニュースを見る度、地元建設業者が地域の安全安心を担う役割である事を改めて感じると共に、その情報を広く一般県民に発信していきたいと思う。(K)